

2026年3月21日

見附天使幼稚園

園長池山奈穂子

2025年度 教職員自己評価(所見)のまとめ

年度初めに個々に目標を設定し、前期、後期に振り返りをしました。新たに見えてきた課題など教育・保育の質向上に向けて全教職員で研鑽していきたいと思えます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

NO	評価項目	所見	これからの課題
①	保育の計画	<ul style="list-style-type: none">・園の全体の計画に基づいて今年度の指針を共通理解し、保育実践を行った。・子どもが挑戦したい(キラキラと輝くような)活動内容の工夫を考えた。・行事等に追われると計画倒れになることがあった。	<ul style="list-style-type: none">・マンネリの活動計画を見直して子どもひとり一人が精神、肉体的に過度の負担がかからない内容を盛り込んでいく。・改訂された教育要領を熟読し、小学校までに育てたい 10 の姿の再確認をする。
②	保育のあり方 幼児の対応	<ul style="list-style-type: none">・園児の安心・安全な環境を設定し日々の動きを確認しながら保育にあたった。・毎朝の健康視診を丁寧に行うようにした。・子どもの成長を観察し共有して関わった。	<ul style="list-style-type: none">・子ども自らの発想を取り入れ、新たな内容、活動時間の見直しを行う。・優しい言葉使いと温かい雰囲気子どもひとり一人と関わる。
③	保育者の 資質・能力	<ul style="list-style-type: none">・チーム保育を大切に、保育の共通理解を図った。・自分の仕事に対して自覚と責任をもった。また、不適切な対応がなかったかを検証、共有し再発防止に努めた。・心に余裕をもって一人ひとりに目を向けるように意識した。・子どもと一緒に思いっきり遊ぶことができ遊びを広げることができた。・子どもの気持ちに寄り添い関わることもできた。・ひとり一人の特性やタイミングを考えながら言葉かけや対応を実践した。・自分の意見ははっきりと伝え、他の職員の見解にも耳を傾けた。・信頼関係を築き安心して過ごせる環境をつくった。	<ul style="list-style-type: none">・乳児部、幼稚園部で全体が滑らかに意思疎通できる環境にする。・責任感のある保育者であるよう自己研鑽に励む(服装、立ち振る舞い、言動)。・子どもひとり一人の思いを洞察する。・にこやかにいつも気持ちを平らに維持する。・行事や課題が多くなっても子どもたちの負担に感じさせない働きかけをする。・幼児理解に努める。・子ども一人ひとりの良いところを見つけていく。・感情や業務の忙しさで子どもたちに指示、命令を行わず平常心を保つ。・食物アレルギー除去食の提供を調理、配膳、摂取のステップ段階の確認を徹底する。

④	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が何でも話せるような和やかな雰囲気を作り出した(個人差があった)。 ・保護者との信頼構築に努め、また、ご意見は貴重なものとして全教職員で共有した。 ・質問等に対し正確、迅速に返事をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見は真摯に受け止め改善事項は迅速に行う。 ・園に対する不信感を招かないよう丁寧な対応をする。自信をもつ。 ・コミュニケーション能力を高める。 ・保護者対応案件を速やかに共有する。
⑤	地域・自然・社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の課題である地域の方々との交流が弱いと感じる。 ・郷土のイベント、園外活動、社会体験活動に努めた。 ・季節感を感じる保育、生き物に対する生命尊重等に力を入れたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“地域で育つ”をモットーにもっと外に視野を広げた保育を実践する。 ・食育活動の一環で野菜や稲を育てているが継続した手入れや収穫ができるようにする。 ・小学校との連携を密にしていく。
⑥	研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ参集型研修、Zoom 研修など進んで受講に努めた。 ・研修レポートにまとめ保育現場で実践しようと努力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修レポート発表の共有確保が難しいが定期的に時間をつくる。 ・保育実践だけでなく一般教養も深められるようにする。 ・モンテッソーリ教育の理論、教材研究の定着を図る。 ・各々が研修会で学んできたことを教職員で共有する。